

防爆構造電気機械器具型式検定合格証

申請者	兵庫県神戸市兵庫区和田崎町一丁目1番1号 三菱重工業株式会社 原子力セグメント	
製造者	兵庫県神戸市兵庫区和田崎町一丁目1番1号 三菱重工業株式会社 原子力セグメント	
品名	薄膜UT	
型式の名称	LV-15085	
防爆構造の種類	耐圧防爆構造 (db) 本質安全防爆構造 (ib)	
対象ガス又は蒸気の 爆発等級及び発火度	II C T6 Gb	
防爆記号	Ex db [ib Gb] ib II C T6 Gb	
適用基準	工場電気設備防爆指針 (国際整合技術指針) JNIO SH-TR-46-1:2020, 2:2018 及び 6:2015	
定 格	別紙1のとおり	
使用条件	別紙2のとおり	
型式検定合格番号	第 TC 2 2 9 3 7 X 号	
有 効 期 間		型式検定者の所属及び氏名
2023年12月25日から 2026年12月24日まで		試験認証部 佐藤 英徳
年 月 日から 年 月 日まで		
年 月 日から 年 月 日まで		
年 月 日から 年 月 日まで		

機械等検定規則による型式検定に合格したことを証明する。

2023年12月25日

型式検定実施者 公益社団法人 産業安全技術協会 会長

別紙 1

定格

本安回路

熱電対回路

最大電圧 3.5V

最大電流 432.5mA

最大電力 0.38W

許容インダクタンス $100\ \mu\text{H}$

許容キャパシタンス $30\ \mu\text{F}$

許容電圧 1.5V

許容電流 100mA

センサ回路

最大電圧 6.5V

最大電流 812.5mA

最大電力 1.33W

許容インダクタンス $10\ \mu\text{H}$

許容キャパシタンス $2\ \mu\text{F}$

許容電圧 1.2V

許容電流 150mA

周囲温度 $-10^{\circ}\text{C} \sim +40^{\circ}\text{C}$

別紙 2

使用条件

1. システムを運転する前に、十分なサイズのケーブルで適切にアースすること。接地点の位置については、SwRIEx. R6310.015 を参照すること。
2. 付属のケーブルのみを使用し、各壁面取り付けコネクタに適切に接続すること。
3. 非危険区域でのみセンサーまたは熱電対のコネクタを外し、ブランキングキャップを取り付けることができる。他のすべての周辺機器を取り外すことはできない。
4. センサーコネクタまたは熱電対コネクタが相手ケーブルから外れている場合は、付属のブランキングキャップで覆うこと。「周辺機器の接続」と「周辺機器の取り外し」に記載されている手順を参照すること。
5. 耐圧接合面の修理は許可されていない。破損した場合は、修理のために機器を返送する際の指示を参照すること。
6. 無線周波数電力は 1.25W 未満に制限すること。
7. 爆発性雰囲気が存在する場合は、開けないこと。
8. システムのバッテリーや本質安全防爆バリアを交換しないこと。
9. システムには、ユーザーが修理できる部品は含まれていない。修理のために装置を返却する手順を参照すること。
10. 安全運転のため、システムの出力および入力リミットを維持する必要がある。SwRIEx. R6310.015 を参照すること。
11. システムは、その重量を支えるのに十分な支持構造に適切に取り付けられなければならない。SwRIEx. R6310.015 を参照のこと。
12. センサ信号線の安全な動作は、各超音波センサからの出力に対する一定の電流、電圧、電力の制限を前提に認証されたものであり、従って、製造者の管理限界の範囲外である。これらの限界値については SwRIEx. R6310.015 を参照のこと。環境条件に起因して超音波センサから発生する電圧、電流、電力が指定されたレベル以下であることを確認することは設置者の責任である。
13. 本質安全防爆回路は、2 箇所を取付板に接地しなければならない。